



## S F の初期時代

### — フランス語圏の影響 —

法政大学国際文化学部主催

日時 2018年10月20日(土) 13時-17時

会場 G 401 法政大学・市ヶ谷校舎・富士見ゲート

JR飯田橋駅・市ヶ谷駅から徒歩10分

#### ① 13:00～14:45

- 「フランス語圏のSFの先駆者」 ジョルディ・フィリップ (国際文化学部教授)
- 「フランスのサイレントSF映画と稲垣足穂・宮沢賢治」 岡村民夫 (国際文化学部教授)
- 「不可能を通る旅」(ジョルジュ・メリエス監督) 一部参考上映

#### ② 15:00～17:00

- 「日本SF初期時代・フランスの影響」 長山靖生  
日本古典SF研究会の創立者、著書『日本SF精神史 幕末・明治から戦後まで』
- サイレント時代のフランスSF映画鑑賞 (澤登翠活弁つき)  
ジョルジュ・メリエス監督、  
「月世界旅行、Le Voyage dans la Lune」(12分、1902)  
「海底二万里、Deux cents milles sous les mers」(10分、1907)  
ルネ・クレール監督、「眠るパリ、Paris qui dort」(39分、1925)

このシンポジウムでは、フランス語圏の初期時代のSF小説やSF映画がどのように日本に影響を及ぼしていたかを探ります。講演の後、フランスサイレントSF映画を鑑賞し、当時の活弁の様子をお伝えします。弁士の澤登翠さんは、法政大学卒業生です。また、共催のアンスティチュ・フランセ (法政大学市ヶ谷キャンパスの真向かい) では、10月27日に「SFの初期時代・フランス語圏の影響」と題した上映会 (岡村教授解説付き / 一般¥1200・学生¥800) が行われます。

『ファンタスティック・プラネット』 開映: 13:30 (開場: 13:15)  
(1973年 / フランス=チェコ / 72分 / カラー / 35mm / 日本語字幕)

『ラ・ジュテ』 開映: 16:00 (開場: 15:45)  
(1962年 / フランス / 29分 / モノクロ / 35mm / 日本語字幕)

